

**2020年3月期
連結決算補足情報
-セグメント別四半期データ**

パーソルホールディングス株式会社
2020年5月15日

2020年3月期通期：セグメント別業績 前期比較

- 連結売上高は9,705億円と、前期比4.8%成長の増収
- 一方、営業利益については、「an」事業の撤退や、PERSOLKELLYでの豪州でのシステムトラブルの影響等を踏まえて、390億円と、前期比11.4%の減益で着地

(単位：百万円)

単位：百万円	FY2018		FY2019		YoY	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結売上高	925,818	44,111	970,572	39,085	4.8%	△11.4%
派遣BPO	509,538	23,991	548,134	25,555	7.6%	6.5%
リクルーティング	85,826	15,555	83,449	13,268	△2.8%	△14.7%
PROGRAMMED	201,476	841	188,956	194	△6.2%	△76.9%
PERSOLKELLY	76,106	548	84,284	△602	10.7%	-
ITO	33,644	1,702	41,182	1,711	22.4%	0.5%
エンジニアリング	29,357	2,762	29,493	2,312	0.5%	△16.3%
その他	5,751	△558	14,328	△1,489	149.1%	-
調整	△15,883	△732	△19,257	△1,865	-	-

連結四半期業績推移

- 当第4四半期においては、売上高は過去最高を更新するものの、営業利益は前期を下回る結果に
- 一方、連結納税制度の導入に伴い、法人税等調整額が減額し、親会社に帰属する四半期純利益は、82億円と前年同期を上回る結果となる

(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	225,929	226,330	232,971	240,586	235,218	243,738	242,204	249,411
YoY(%)	39.6%	39.0%	36.8%	5.9%	4.1%	7.7%	4.0%	3.7%
営業利益	11,530	8,922	11,620	12,036	10,057	10,058	8,287	10,681
OPM(%)	5.1%	3.9%	5.0%	5.0%	4.3%	4.1%	3.4%	4.3%
EBITDA	15,401	12,795	15,533	16,242	14,416	14,532	12,410	14,997
EBITDA Margin(%)	6.8%	5.7%	6.7%	6.8%	6.1%	6.0%	5.1%	6.0%
親会社に帰属する 四半期純利益	6,631	5,355	6,750	5,622	5,466	△10,643	4,522	8,266

- 当第4四半期は、稼働日増効果に加え、事務領域を中心に稼働者数の増加により増収・増益

(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	124,940	123,568	129,927	131,103	131,429	135,457	140,693	140,553
YoY(%)	6.4%	4.6%	5.0%	7.6%	5.2%	9.6%	8.3%	7.2%
営業利益	6,897	4,213	6,904	5,976	6,311	5,694	7,111	6,437
OPM(%)	5.5%	3.4%	5.3%	4.6%	4.8%	4.2%	5.1%	4.6%
EBITDA	7,835	5,165	7,849	7,074	7,310	6,717	8,122	7,477
EBITDA Margin(%)	6.3%	4.2%	6.0%	5.4%	5.6%	5.0%	5.8%	5.3%
稼働日数 (日)	62	59	62	57	59	59	61	58

【当四半期に関するコメント】

- 売上高は対前年+7.2%の増収。内訳は、稼働日1日増：1.6%、稼働者数増+9.4%、単価+1.6%、稼働時間減少：△4.2%（COVID-19の影響）、その他要因（人材紹介売上の減少等）により、△1.2%
- 派遣スタッフの需要が若干弱含むも、スタッフの就業期間の長期化に伴い稼働者数は増加

リクルーティングセグメント

- 当第4四半期は、「an」事業の撤退の影響や、企業の採用抑制の影響を受け減収減益に

(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	20,738	20,303	21,207	23,577	23,549	22,259	18,114	19,526
YoY(%)	13.7%	18.8%	21.9%	17.3%	13.6%	9.6%	△14.6%	△17.2%
営業利益	4,222	3,337	3,210	4,784	4,703	4,393	1,271	2,900
OPM(%)	20.4%	16.4%	15.1%	20.3%	20.0%	19.7%	7.0%	14.9%
EBITDA	4,915	4,024	3,920	5,521	5,414	5,146	2,047	3,697
EBITDA Margin(%)	23.7%	19.8%	18.5%	23.4%	23.0%	23.1%	11.3%	18.9%

【当四半期に関するコメント】

- 人材紹介事業は、景気鈍化の影響を受け、売上高は微減。中途採用は休止し、サービス終了した「an」事業の人員を含めた人材育成に注力。トレーニングは想定通りに進捗
- 正社員広告事業は、新卒社員や、「an」事業から異動した人員が売上に貢献し始めたことにより増収

PROGRAMMEDセグメント

- 当第4四半期は豪ドル安のため、減収となったものの、Staffing事業が下げ止まり。Maintenance事業は好調を維持
(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	51,495	50,968	48,866	50,145	46,444	48,160	45,589	48,761
YoY(%)	-	-	-	△8.0%	△9.8%	△5.5%	△6.7%	△2.8%
営業利益	234	△16	18	604	73	△215	△360	697
OPM(%)	0.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.2%	△0.4%	△0.8%	1.4%
EBITDA	1,752	1,443	1,463	2,061	1,893	1,570	980	2,091
EBITDA Margin(%)	3.4%	2.8%	3.0%	4.1%	4.1%	3.3%	2.1%	4.3%
豪GDP成長 (%)	3.2%	3.4%	2.6%	2.2%	1.7%	1.4%	1.7%	2.2%
為替 (円/AUD)	85.2	83.8	83.1	82.6	78.5	77.7	76.3	75.8

【当四半期に関するコメント】

- セグメント売上高は、豪ドル安影響により△2.8%（現地通貨ベースでは、全体+6.4%、内、Staffing事業+0.2%、Maintenance事業 +13.3%）
- 2019年10月にCEOが交代し、Staffing事業における体制を強化。GDP成長率の上昇により、顧客からの派遣スタッフの引き合いも増加し、売上高は前期第4四半期並みまで回復
- Maintenance事業は、特にFacility Managementが好調を維持し+17.5%成長

PERSOLKELLYセグメント

- 当第4半期は、景気の減速感が増す中でも、派遣事業が堅調に推移。損益的には、豪州のシステムトラブルに伴う未回収売掛債権を費用計上したことが響き、営業損失計上
(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	17,254	18,867	19,372	20,611	20,568	21,423	20,650	21,642
YoY(%)	10.7%	16.4%	16.3%	19.0%	19.2%	13.5%	6.6%	5.0%
営業利益	△76	433	290	△98	△230	88	△214	△245
OPM(%)	△0.4%	2.3%	1.5%	△0.5%	△1.1%	0.4%	△1.0%	△1.1%
EBITDA	106	614	479	148	△19	297	△20	△30
EBITDA Margin(%)	0.6%	3.3%	2.5%	0.7%	△0.1%	1.4%	△0.1%	△0.1%

【当四半期に関するコメント】

- 売上高の約3割を占めるシンガポールで、2桁成長を達成。一方で、豪州はシステムトラブルは終息するもののスタッフの稼働数が減少し、売上高は20%を超える減収。人材紹介事業が主力の中国も、貿易摩擦の影響を受け低調
- 豪州事業の貸倒損失の追加引当を含め赤字幅が拡大。これに伴い営業利益は大幅減益となった
- 2020年3月に豪州事業はPROGRAMMED社と事業統合。PROGRAMMED社に組織統合を図り、ホワイトカラー派遣領域の強化を図る

ITOセグメント

- 当第4四半期も、ITアウトソーシングへの需要は高く、技術者を積極的に採用し対応力を高めた結果、増収増益を達成
(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	7,181	8,191	8,496	9,775	8,986	10,292	10,420	11,484
YoY(%)	16.2%	11.5%	13.7%	22.4%	25.1%	25.7%	22.6%	17.5%
営業利益	△65	521	388	857	△345	467	538	1,050
OPM(%)	△0.9%	6.4%	4.6%	8.8%	△3.8%	4.5%	5.2%	9.1%
EBITDA	103	712	615	1,059	△96	720	836	1,369
EBITDA Margin(%)	1.4%	8.7%	7.2%	10.8%	△1.1%	7.0%	8.0%	11.9%

【当四半期に関するコメント】

- 内需を中心とした大手クライアントや政府系のコンソーシアム案件等の引き合いは強い一方、システム開発案件は不採算案件や、企業からの案件の伸び悩みもあり、増収率は、前年同期比+17.5%と、Q3よりも成長率は鈍化
- 当四半期は請負案件の完成等があり、営業利益は前年同期を上回り増益で着地
- ICTアウトソーシング事業は、客先常駐スタッフを含め、COVID-19影響は受けておらず安定的な需要を見込む一方、システムソリューション事業は、COVID-19の影響を一定受ける見込み

エンジニアリングセグメント

- 当第4四半期は、請負から派遣へと契約形態を柔軟に対応することで売上を確保。営業利益は、前年同期比、第3四半期比ともに増益
(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	6,439	7,211	7,720	7,986	6,373	7,435	7,378	8,306
YoY(%)	1.1%	7.7%	8.9%	4.5%	△1.0%	3.1%	△4.4%	4.0%
営業利益	146	732	938	945	11	658	584	1,058
OPM(%)	2.3%	10.2%	12.2%	11.8%	0.2%	8.9%	7.9%	12.7%
EBITDA	288	885	1,092	1,100	113	767	694	1,180
EBITDA Margin(%)	4.5%	12.3%	14.1%	13.8%	1.8%	10.3%	9.4%	14.2%

【当四半期に関するコメント】

- 全般的に製造業を中心とした新規案件が減少する中、既存クライアントや新規顧客開拓を踏まえ、主に派遣形態での案件数が増加。また、当四半期には請負案件の検収が集中し、増収を確保
- 営業利益は、請負案件の検収による増収効果により増益

その他セグメント

- 当第4四半期も、新規事業“ミイダス”（人材マッチングサービス）等イノベーション事業が売上を伸ばす
(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	1,418	1,199	1,600	1,531	2,486	3,545	4,144	4,151
YoY(%)	51.6%	15.3%	39.6%	25.9%	75.2%	195.5%	158.9%	171.1%
営業利益	84	△206	△52	△383	△196	△410	△255	△626
OPM(%)	5.9%	△17.2%	△3.3%	△25.1%	△7.9%	△11.6%	△6.2%	△15.1%
EBITDA	101	△186	△31	△360	△142	△275	△88	△464
EBITDA Margin(%)	7.2%	△15.6%	△2.0%	△23.5%	△5.8%	△7.8%	△2.1%	△11.2%

【当四半期に関するコメント】

- 投資領域の“ミイダス”や新規事業投資を行うイノベーション事業が伸長したことにより増収
- 売上拡大のため、積極的な人材投資を継続。更なるスケール化を目指す

調整額（コーポレートおよび連結調整）

- 当第4四半期は、社内取引や新規事業への投資等が増加したが、広告宣伝費等のコストをコントロールし営業赤字幅は縮小

(単位：百万円)

	FY2018				FY2019			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	△3,539	△3,980	△4,220	△4,143	△4,619	△4,836	△4,787	△5,014
YoY(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	87	△93	△77	△648	△268	△617	△388	△590
OPM(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
EBITDA	297	137	143	△364	△56	△411	△161	△323
EBITDA Margin(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

【当四半期に関するコメント】

- 事業拡大に伴い、セグメント間の取引、コーポレートの経営管理料等の内部取引の消去が増加

2021年3月期第1四半期 業績予想 (SBU別売上高)

単位：百万円	FY2019	FY2020 (予想)		YoY(%)	
連結売上高	235,218	216,100 ~	223,700	△8.1% ~	△4.9%
Staffing	122,189	114,200 ~	119,200	△6.5% ~	△2.4%
Career	23,549	14,000 ~	15,000	△40.5% ~	△36.3%
Professional Outsourcing	24,008	24,700 ~	25,700	2.9% ~	7.0%
Solution*	1,351	700 ~	1,100	△48.2% ~	△18.6%
Asia Pacific (APAC)	67,012	65,000		△3.0%	
その他	1,731	2,500 ~	2,700	44.4% ~	56.0%
調整	△4,624	△5,000		-	

*ミイダスについては、2021年3月期より重要性が増すため原則的会計処理を適用（影響額△約7億円）

2021年3月期第1四半期 業績予想 (SBU別営業利益)

単位：百万円	FY2019	FY2020 (予想)		YoY(%)	
連結営業利益	10,057	1,500 ~	3,000	△85.1% ~	△70.2%
Staffing	5,823	4,260 ~	4,760	△26.8% ~	△18.3%
Career	4,703	100 ~	500	△97.9% ~	△89.4%
Professional Outsourcing	271	△640 ~	△540	—	—
Solution*	△299	△1,670 ~	△1,470	—	—
Asia Pacific (APAC)	△156	△90		—	—
その他	△3	△550 ~	△500	—	—
調整	△281	90 ~	340	—	—

*ミイダスについては、2021年3月期より重要性が増すため原則的会計処理を適用（影響額△約6億円）

2021年3月期第1四半期 業績予想 (SBU別EBITDA)

単位：百万円	FY2019	FY2020 (予想)		YoY(%)	
連結EBITDA	14,416	5,400 ~	6,900	△62.5% ~	△52.1%
Staffing	6,765	5,500 ~	6,000	△18.7% ~	△11.3%
Career	5,414	850 ~	1,250	△84.3% ~	△76.9%
Professional Outsourcing	677	△510 ~	△410	—	—
Solution*	△248	△1,550 ~	△1,350	—	—
Asia Pacific (APAC)	1,874	1,280		△31.7%	
その他	0	△450 ~	△400	—	—
調整	△66	280 ~	530	—	—

*ミイダスについては、2021年3月期より重要性が増すため原則的会計処理を適用（影響額△約6億円）

SBU別四半期業績推移(Pro-forma)

(単位：百万円)	2019/3					2020/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結売上高	225,929	226,330	232,971	240,586	925,818	235,218	243,738	242,204	249,411	970,572
Staffing	115,846	114,706	120,592	122,101	473,247	122,189	126,130	130,986	130,871	510,177
Career	20,738	20,303	21,207	23,577	85,826	23,549	22,259	18,114	19,526	83,449
Professional Outsourcing	22,188	23,810	25,056	26,194	97,250	24,008	26,126	26,850	28,842	105,826
Solution	430	372	487	478	1,769	1,351	1,837	1,856	1,967	7,012
Asia Pacific (APAC)	68,750	69,836	68,239	70,756	277,582	67,012	69,584	66,240	70,403	273,241
その他	1,418	1,199	1,600	1,531	5,750	1,731	2,585	2,989	2,803	10,111
調整	△3,444	△3,898	△4,212	△4,054	△15,609	△4,624	△4,785	△4,833	△5,003	△19,246
連結営業利益	11,531	8,921	11,620	12,036	44,111	10,057	10,058	8,287	10,681	39,085
Staffing	6,292	3,686	6,114	5,343	21,438	5,823	5,333	6,806	5,905	23,869
Career	4,223	3,337	3,210	4,784	15,555	4,703	4,393	1,271	2,900	13,268
Professional Outsourcing	588	1,778	2,108	2,440	6,916	271	1,449	1,519	3,070	6,310
Solution	96	0	△18	△114	△37	△299	△175	△376	△768	△1,619
Asia Pacific (APAC)	158	417	308	505	1,390	△156	△126	△575	451	△408
その他	84	△206	2	△273	△392	△3	△202	54	△275	△427
調整	89	△91	△106	△649	△758	△281	△612	△413	△602	△1,909

SBU別四半期業績推移(Pro-forma)

(単位：百万円)	2019/3					2020/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結EBITDA	15,402	12,794	15,533	16,242	59,972	14,416	14,532	12,410	14,997	56,356
Staffing	7,171	4,576	6,996	6,334	25,078	6,765	6,298	7,759	6,885	27,709
Career	4,916	4,023	3,920	5,521	18,382	5,414	5,146	2,047	3,697	16,305
Professional Outsourcing	955	2,180	2,551	2,901	8,589	677	1,866	1,982	3,216	7,744
Solution	96	0	△18	△112	△35	△248	△111	△302	△340	△1,003
Asia Pacific (APAC)	1,858	2,058	1,943	2,210	8,070	1,874	1,868	960	2,060	6,763
その他	101	△186	23	△251	△313	0	△131	148	△197	△181
調整	302	142	117	△361	200	△66	△404	△184	△325	△981

当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2020年5月15日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。